

問6プロジェクトにおけるコミュニケーションの計画（プロジェクトマネジメント）（H27 春・FE 午後問6）

【解答】

〔設問1〕 aーア, bーエ, cーウ, dーウ, eーイ

〔設問2〕 fーイ, gーウ

【解説】

プロジェクト管理におけるコミュニケーションマネジメントの問題である。プロジェクトメンバが増えれば増えた分だけのコミュニケーションチャネルが拡大する。プロジェクト内の、PM と TL の関係、TL と担当者との関係などの数を踏まえ、検討していく内容である。

設問1については、配布書類の頻度や定期的な報告頻度と合わせて関係の数を求める問題である。関係の数は、TL やメンバの数が多くないため、手計算や関係の数を書き出しても導きだせる。

設問2については、設計工程の問題発生に対し、GW（グループウェア）の導入によってプロジェクト計画書の配布先を変更する。その際の配布先の検討や、GW の他書類の設定ルールを検討する。

問題文を読めば特別な知識がなくても解答できる問題となっているため、確実に得点しておきたい内容である。

〔設問1〕

- ・空欄a：議事録の運営方法に関する問題である。図2の2.1 プロジェクト管理文書の項番3から、プロジェクト会議議事録は管理者がPM となっている。注記には、「プロジェクト管理文書の登録及び配布、並びに配布した履歴の保管は、管理者が行う」とあるので、配布するのはPM である。したがって、正解は（ア）である。
- ・空欄b：議事録の月あたりの配布頻度を求める。会議の開催頻度は、図2の2.2 プロジェクト会議から、全体進捗会議が月2回、チーム進捗会議がチームごとに月4回である。チーム数が3 であることから、チーム進捗会議は、月に $4 \times 3 = 12$ 回で、会議の月当たりの合計は全体進捗会議の会議回数とチーム進捗会議の会議回数との合計の14回となる。したがって、正解は（エ）である。
- ・空欄c：議事録の配布方法として、TL から担当者に配布する方法（方法①）の関係の数は、PM－TL の数が3、TL－担当者が、各チームで、それぞれ2、3、4 と担当者数の分あり、合計すると12 となる。したがって、正解は（ウ）である。
- ・空欄d：PM から全メンバに配布する方法（方法②）は、PM からTL3名と担当者9名、計12 の関係の数となり、方法①と同じ関係の数となる。したがって、正解は（ウ）の「変わらない」となる。
- ・空欄e：方法①では議事録の内容が確実に伝わったことを確認し、その報告の履歴を残すことが条件となる。そこで配布先のTL に何を指示するのが問われている。
ア：TL は担当者全員から内容を確認した旨の電子メールを受け取るが、TL からPM には口頭で報告するとなっているので、その履歴は残らない。
イ：TL は担当者全員から内容を確認した旨の電子メールを受け取り、TL からPM に電子メールで報告する。これは全員からの履歴が残ることになる。したがって、この選択肢（イ）が正解となる。
ウ：メンバが内容を確認した旨を直接PM に電子メールで報告する。しかし、メンバからTL への履歴は残らない。

〔設問2〕

設計工程でのGW（グループウェア）の導入についての問われている内容である。

設計工程の状況として、各チームに遅延が発生しており、その原因は、設計検討会に十分参加できていないことと、プロジェクト関係者間の情報流通が悪いことである。その中でも、プロジェクト関係者間の情報流通の問題として、プロジェクト計画書の配布先が原因で、機能要件の変更がメンバに伝わっていない場合があることが分かっている。

- ・空欄f：GW 導入後のプロジェクト計画書の配布先を答える問題である。現在は配布先が全チームのTL となっているが、これはTL と担当者に配布すべきである。解答群では、担当者 と TL を指す全チームのメンバであり、正解は（イ）である。
- ・空欄g：表2のプロジェクト会議議事録の設定ルールを考える。図2のコミュニケーションの計画の一部の2.1 プロジェクト管理文書の中のプロジェクト会議議事録を参照すると、管理者はPM で配布先は全チームのメンバとなっている。そこで、PM については管理者なので、●のプロジェクト管理文書の登録及び参照を許可が要ることが分かる。また、全チームのメンバに当たるTL と担当者は配布だけなので、○のプロジェクト管理文書の参照だけ許可が要ることが分かる。したがって、（ウ）が正解である。